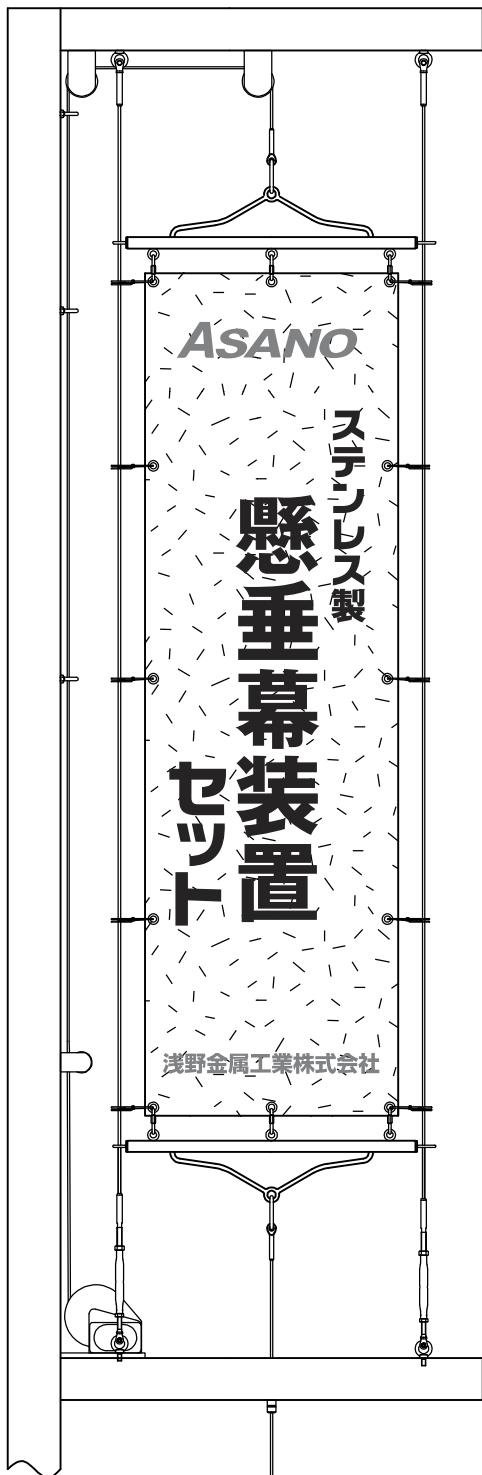


ASANO

懸垂幕装置セット

取扱説明書



設置される業者様へ

- 本製品を正しく設置して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、設置後はお使いになるお客様へこの取扱説明書をお渡しください。

ご使用されるお客様へ

- 本製品を正しくご使用して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後もご使用される方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

ASANO

浅野金属工業株式会社

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866
TEL.0256-33-0101 FAX.0256-33-0096

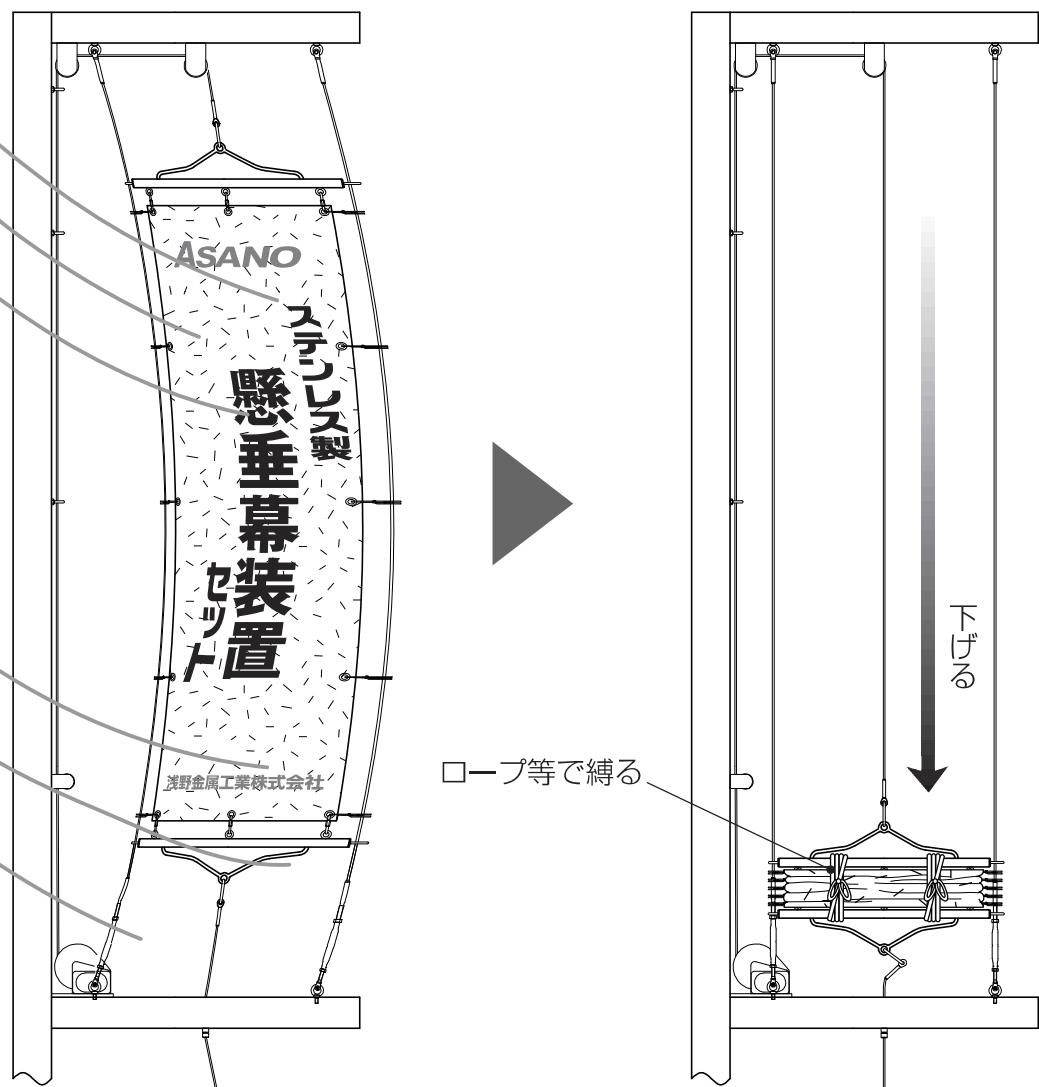
安全のために注意していただきたいこと

懸垂幕装置を正しく安全にお使い頂くために、また、お客様や回りの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書をよく読んで理解し、本製品をお取り扱いください。

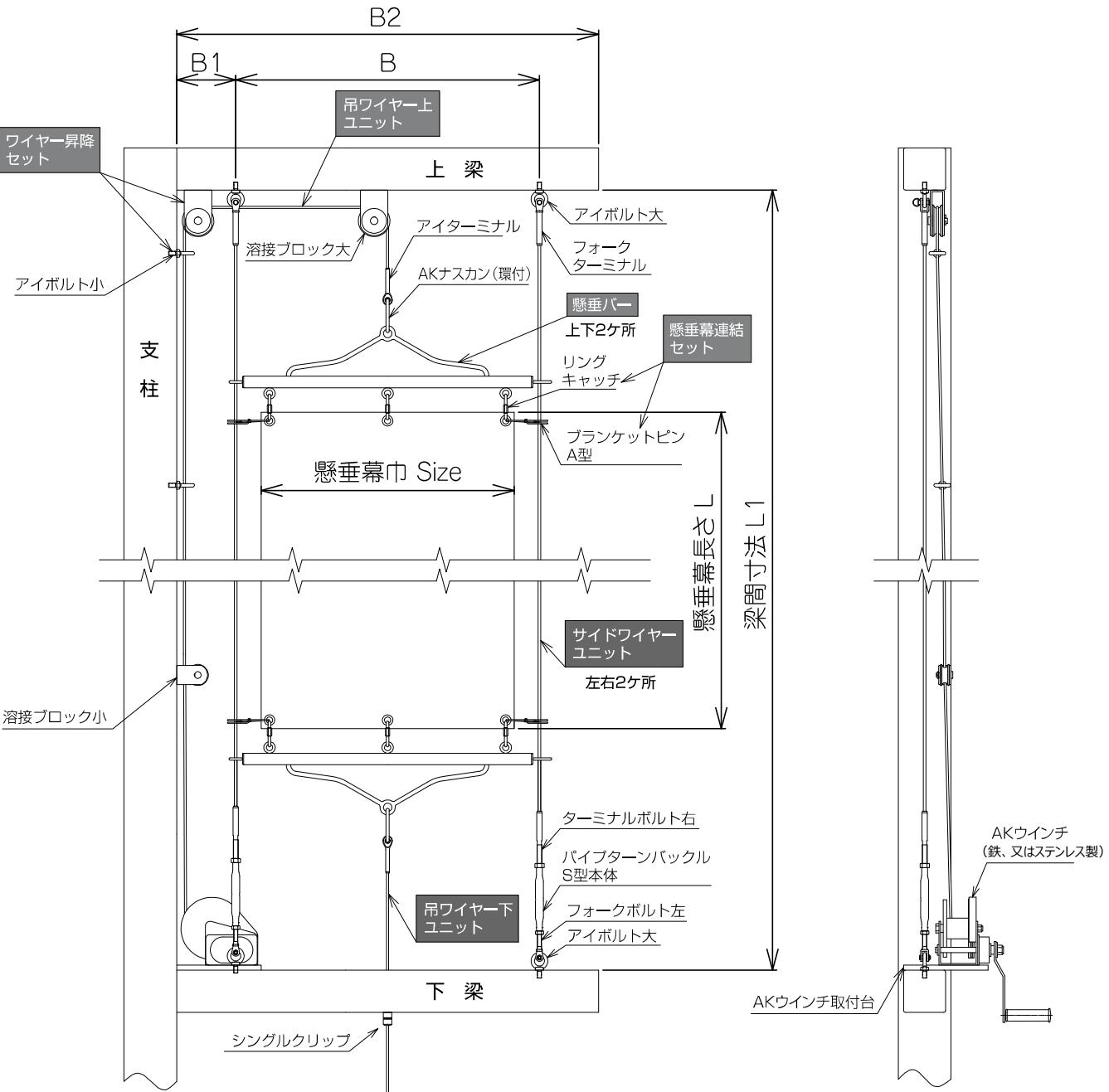
! 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
! 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

! 警告

- 台風や風の強い日は、懸垂幕を下端まで下げて、ロープ等で縛って固定してください。風力によって懸垂幕やワイヤー、各部品等が破損し、落下等の事故の原因になります。



各部名称及び寸法図



No.	懸垂幕 巾 Size	懸垂幕 長さ L	梁間長さ L1	B	B1	B2
AK48001	600	2000	L+1.1m 以上	720	140	1000
AK48002	900	3000		1020		1300
AK48003	1200	4000		1320		1600
AK48004	1500	5000		1620		1900
AK48005	1800	6000		1920		2200

※使用する金具はステンレス製です。AKウインチのみ、鉄製とステンレス製があります。

懸垂幕装置の設置方法

1 サイドワイヤーユニットの取付

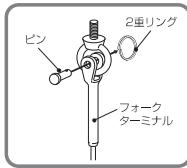
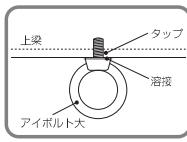
①サイドワイヤーの取付位置を決めます。
(B、B1寸法を確認します。)

注1 サイズ表参照

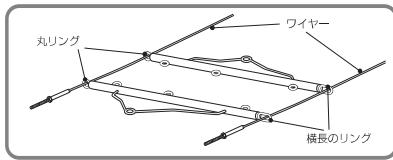
②上・下梁にアイボルト大と同じねじ径でタップ加工をします。
更に溶接を行います。

注1 サイズ表参照

③上梁側のアイボルト大にフォークターミナルを取り付けます。

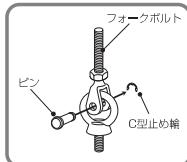


④懸垂バー両端のリングにサイドワイヤーを通します。
(懸垂バーの方向を図のようになります。)

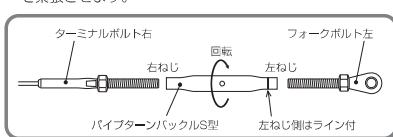


*中間バーを使う場合は注2を参照願います。

⑤下梁側のアイボルト大にフォークボルトを取り付けます。
(フォークボルトはC型止め輪)



⑥ターミナルボルト右とフォークボルト左をパイプターンバッフルS型本体のねじに合わせ、回転させてサイドワイヤーを緊張させます。



△ 注意

●ワイヤーを張り過ぎないでください。
※必要以上に張り過ぎると、連結している金具が変形したり、上下の梁が曲がる恐れがあります。

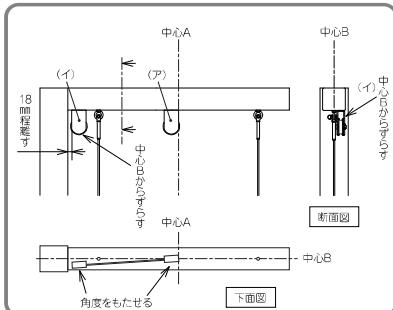
2 ワイヤー昇降セットの取付

①上梁に溶接ブロック大2台の取付位置を決めます。

(ア) の滑車は、中心A、Bに車両側面を合わせた位置に取り付けます。

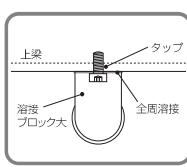
(イ) の滑車は、鉄柱より18mm程離した位置で側面図中心Bからずれた位置に取り付けます。

(ア) (イ) の滑車は、下面図のようにサイドワイヤーに干涉しないように角度をもたせください。



②上梁に溶接ブロックと同じねじ径でタップ加工をします。
更に溶接を行います。

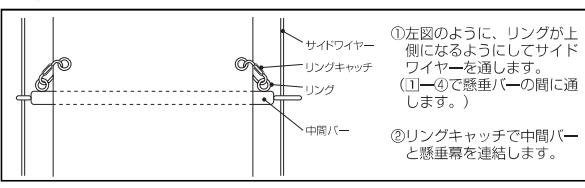
注1 サイズ表参照



注1 サイズ表

	懸垂幕巾 Size	B	B1	ワイヤーSize サイド ワイヤー 上・下	アイボルト 大	アイボルト 小	溶接ブロック 大	溶接ブロック 小	下梁 貫通穴	
AK48001	600	720	140	φ5 (1x19)	φ6 (7x19)	M10	75 (M14)	50 (M12)	ø7穴	
AK48002	900	1020								
AK48003	1200	1320					M8			
AK48004	1500	1620			φ6 (1x19)	φ8 (7x19)	M12	100 (M16)	75 (M14)	ø8穴
AK48005	1800	1920								

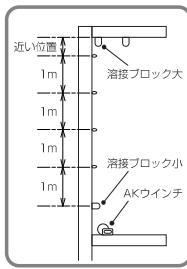
注2 中間バーを使う場合



③鉄柱にアイボルト小と溶接ブロック小1台の取付位置を決めます。
一番上のアイボルト小は、溶接ブロック大に近い位置とし、他のアイボルトは1m間隔程度とします。溶接ブロック小はワイヤーをAKウインチに導く部分を使用してください。

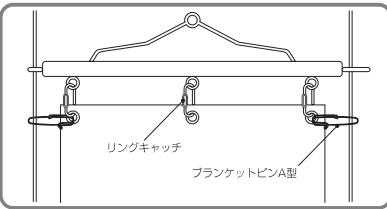
④アイボルト小と溶接ブロック小の取付は、タップ加工をし、溶接をしてください。

注1 サイズ表参照



3 懸垂幕の取付

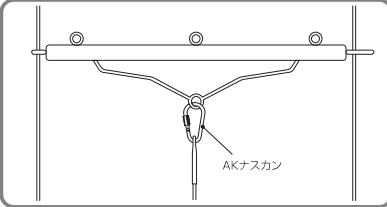
①リングキャッチで懸垂バーと懸垂幕を連結します。
②プランケットピンA型でサイドワイヤーと懸垂幕を連結します。



*中間バーを使う場合は注2を参照願います。

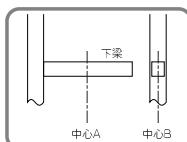
4 吊ワイヤー下ユニットの取付

①懸垂バーのリングにAKナスカン(環付)を連結します。



②下梁に貫通穴を中心A、Bの位置に開けます。

注1 サイズ表参照



③ワイヤーを下梁に通して、図のようにシングルクリップを仮固定します。

※シングルクリップ2個を固定する位置によって、懸垂幕の位置が決まりますので、懸垂幕を上げた状態で最後に本締めしてください。



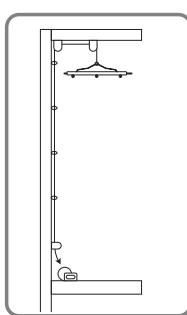
5 AKウインチの取付

①お客様のご使用により、AKウインチの取付位置は異なりますので、あらかじめ取付位置をどこにするかをご検討願います。また、AKウインチの据付、取扱方法はAKウインチの取扱説明書を参照してください。

6 吊ワイヤー上ユニットの取付

①ワイヤー下ユニットと同じようにAKナスカン(環付)を懸垂バーのリングに連結します。

②ワイヤーの反対側を溶接ブロック大に通し、アイボルト小、溶接ブロック小へ通し、AKウインチに取り付けます。



7 懸垂幕昇降の確認

①AKウインチのハンドルを回して、懸垂幕を上昇させてください。

④①-③のように、懸垂幕を止めたい位置で上昇をやめて、シングルクリップ本締めしてください。

②懸垂幕の昇降を一通り確認したら、設置は完了です。

ご使用されるお客様へ

1. 取扱い方法

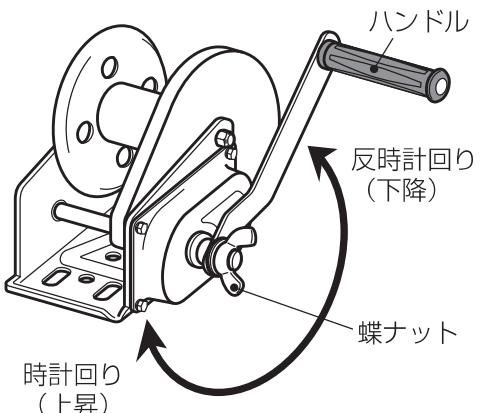
①懸垂幕の昇降

①AKウインチのハンドルは時計回りで懸垂幕は上昇し、反時計回りで下降します。

※AKウインチの取扱いに関しては、AKウインチ取扱説明書をお読みください。

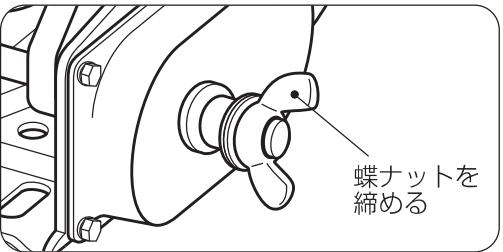
⚠ 注意

- 懸垂幕が上がりきった時点ではハンドルの回転をやめてください。無理にハンドルを回し続けるとシングルクリップが外れてしまいます。
- 懸垂幕が下がりきった時点でもハンドルの回転をやめてください。ワイヤーがAKウインチのドラム内で空回りしてしまいます。



②懸垂幕の昇降をしない時は、蝶ナットを外してハンドルを取り外してください。

外した蝶ナットは再度締めて、ハンドルは使う人がわかる所に保管してください。



②懸垂幕の取替え方法

①懸垂幕を下端まで下降させます。

②懸垂幕と懸垂バー、サイドワイヤーのそれぞれ連結しているリングキャッチ、プランケットピンA型を外せば懸垂幕を取り外せます。

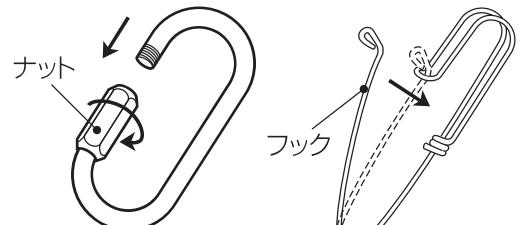
③新しい懸垂幕を取り付けます。

懸垂幕は同じ大きさで、ハトメ位置も同じにしてください。

⚠ 注意

- リングキャッチの固定は、スパナ等の工具を使って本締めをしてください。

●リングキャッチ
ナットを回して外す



●プランケットピンA型
フックを押して外す

※ナットが固い場合は
スパナ等で回して外
してください。

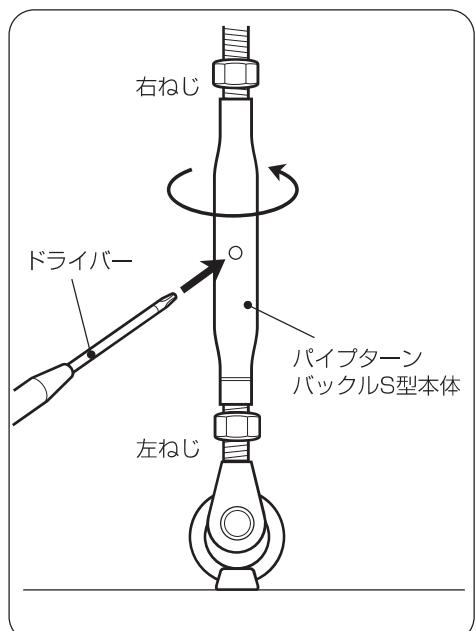
2. 点検・メンテナンス

①点検

- ワイヤーロープに異常がないか。
(摩耗、断線、キンク、つぶれ、ほつれ、腐食など)
- AKウインチに異常はないか。
(AKウインチ取扱説明書参照)
- 各部品や連結金具に異常がないか。
(外れ、ねじの緩み、欠損、摩耗による削れなど)

②メンテナンス

- サイドワイヤーが緩んでいた場合（右図参照）
- パイプターンバックルS型本体の中央の穴にドライバー等を差し込み、図のように回転させてワイヤーを張ることができます。※上下にある六角ナットを緩めてから回してください。
- 吊ワイヤー下ユニットのシングルクリップが緩んでいた場合、六角レンチで増締めしてください。
- 吊ワイヤー上ユニットやサイドワイヤーが摩耗によって削られていた場合は、使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 万一、本取扱説明書を紛失した場合は、販売店へご請求ください。



懸垂幕装置セット

壁付型 —Wall Hanging ウォールハンギング—

取扱説明書



設置される業者様へ

- 本製品を正しく設置して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、設置後はお使いになるお客様へこの取扱説明書をお渡しください。

ご使用されるお客様へ

- 本製品を正しくご使用して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後もご使用される方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

ASANO

浅野金属工業株式会社

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866
TEL.0256-33-0101 FAX.0256-33-0096

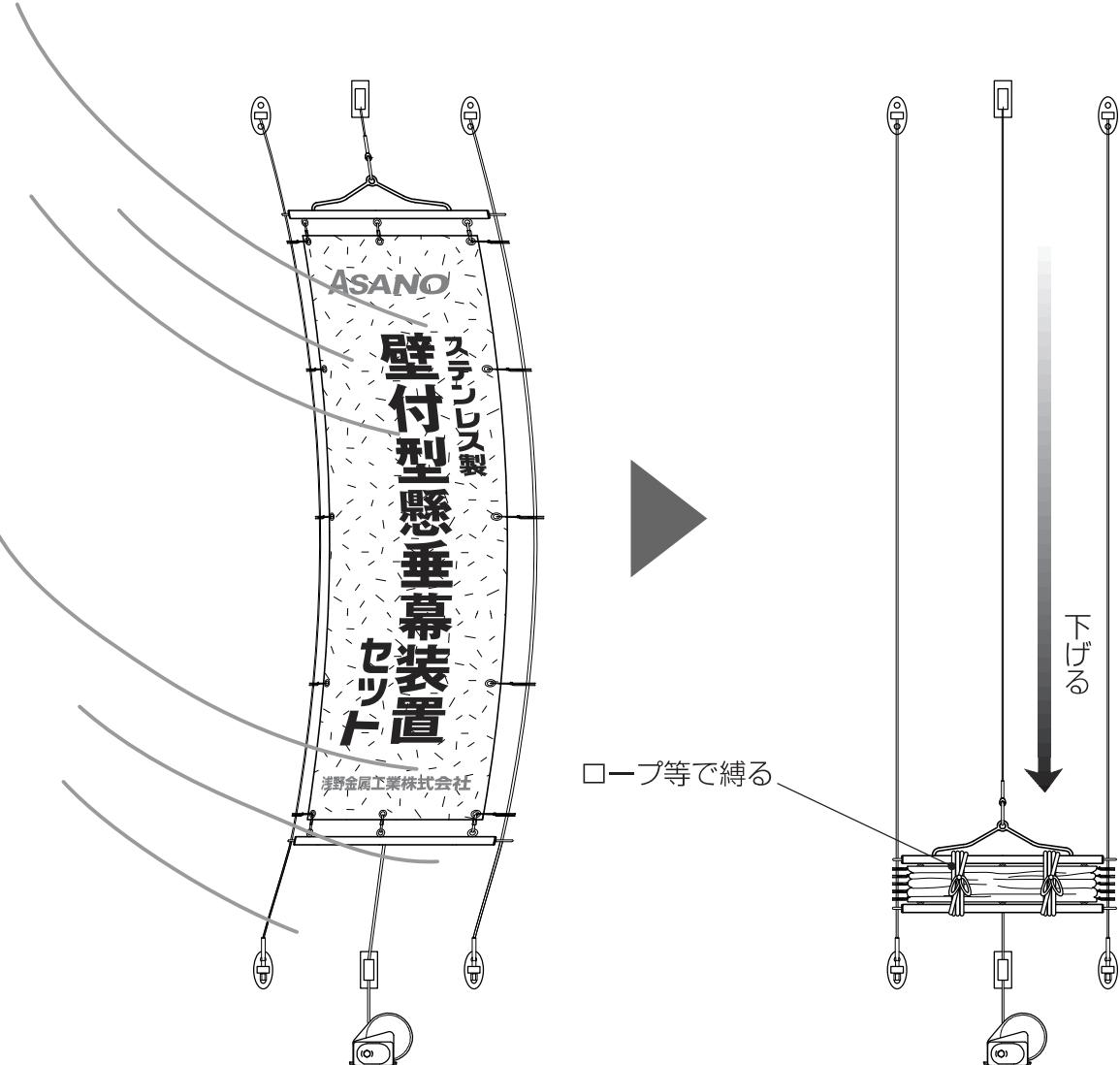
安全のために注意していただきたいこと

懸垂幕装置を正しく安全にお使い頂くために、また、お客様や回りの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書をよく読んで理解し、本製品をお取り扱いください。

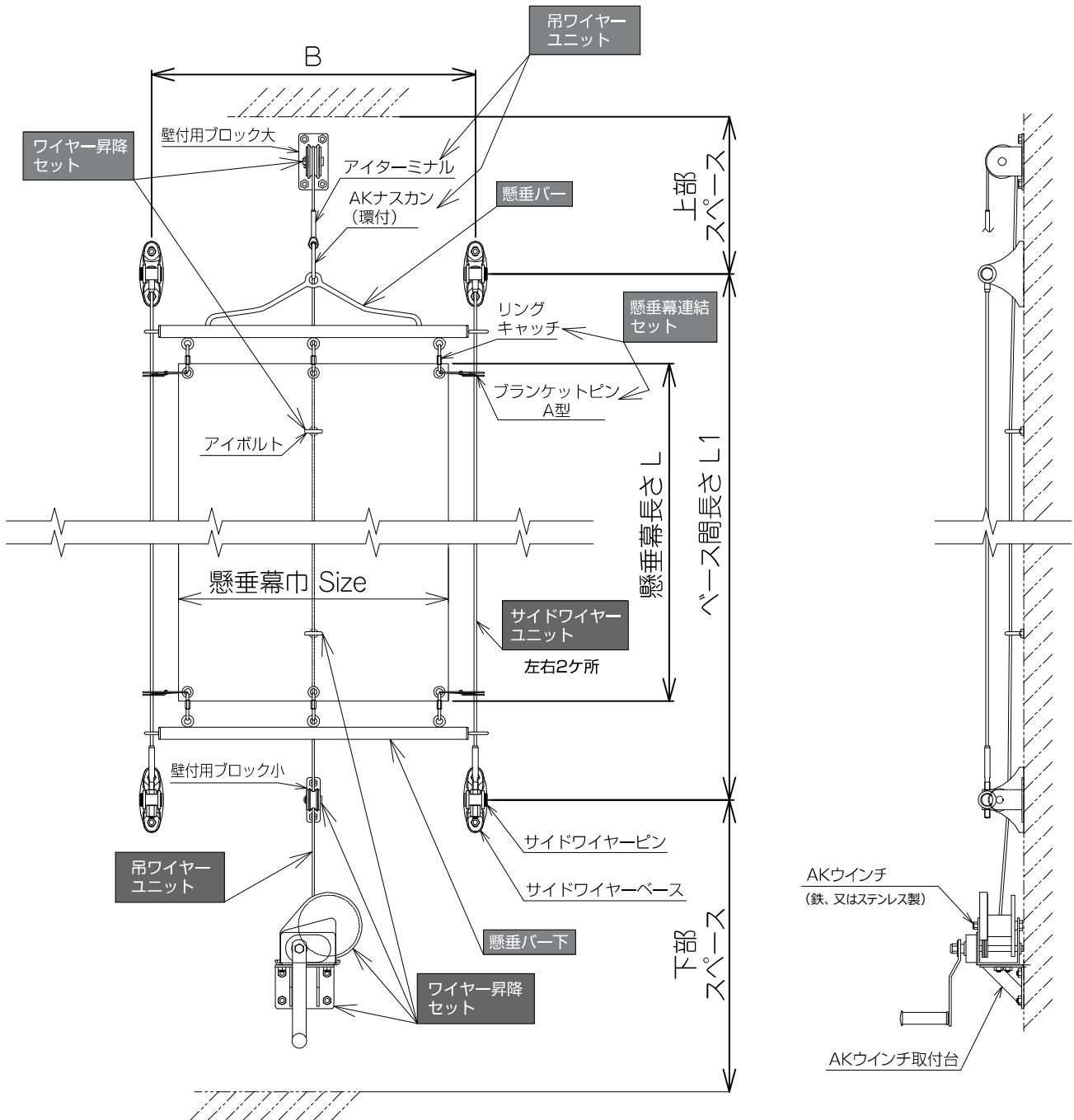
! 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
! 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

! 警告

- 台風や風の強い日は、懸垂幕を下端まで下げて、ロープ等で縛って固定してください。風力によって懸垂幕やワイヤー、各部品等が破損し、落下等の事故の原因になります。



各部名称及び寸法図



No.	懸垂幕巾 Size	懸垂幕長さ L	ベース間長さ L1	B	上部スペース	下部スペース
AK48011	600	2000	L+0.45m 以上	720	350 以上	650 以上
AK48012	900	3000		1020		
AK48013	1200	4000		1320		
AK48014	1500	5000		1620		
AK48015	1800	6000		1920	580 以上	

※使用する金具はステンレス製です。AK ウィンチのみ、鉄製とステンレス製があります。

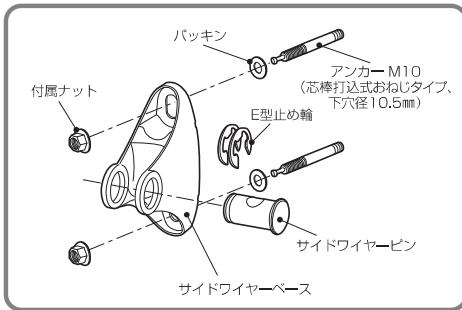
壁付型懸垂幕装置の設置方法

1 サイドワイヤーユニットの取付

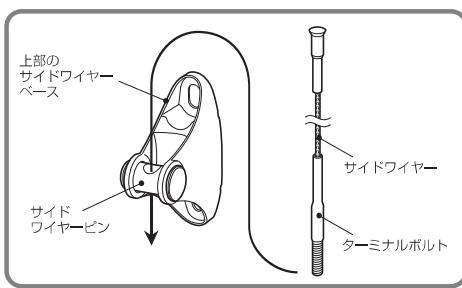
①サイドワイヤーの取付位置を決めます。
(B、L1、上部スペース、下部スペース寸法を確認します。)

注1 サイズ表参照

②サイドワイヤーベース(4個)を壁面に取り付けます。
※サイドワイヤーピンは予め、E型止め輪(2枚)を使用してサイドワイヤーベースに取り付けておいてください。

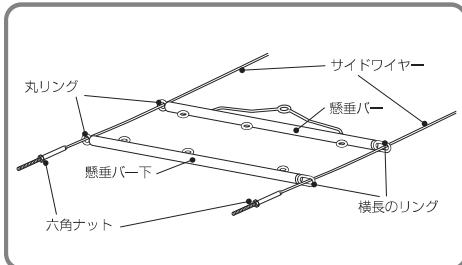


③ターミナルボルトから六角ナット、高ナットを取り外し、上部のサイドワイヤーベースに取り付けてあるサイドワイヤーピンにサイドワイヤーをターミナルボルト側から通します。(2ヶ所)



④懸垂バー、懸垂バー下両端のリングにサイドワイヤーを通し、ターミナルボルトに六角ナットを取り付けます。

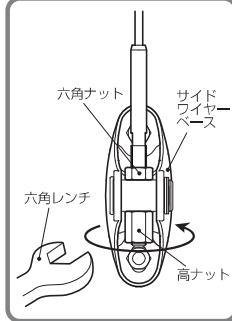
(懸垂バー、懸垂バー下の方向を図のようにする。)



⑤下部のサイドワイヤーベースに取り付けてあるサイドワイヤーピンにターミナルボルトを通して、高ナットを締め付け、サイドワイヤーを緊張させた後、六角ナットを締めます。

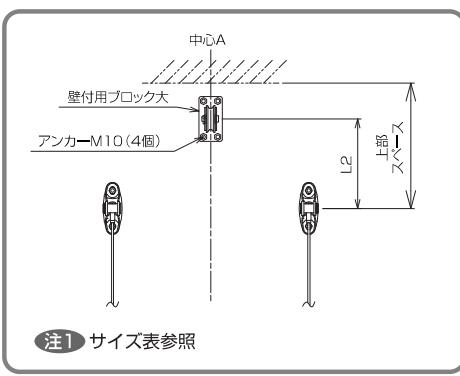
△ 注意
●サイドワイヤーを張り過ぎないでください。

※必要以上に張り過ぎると、連結している金具が変形する恐れがあります。

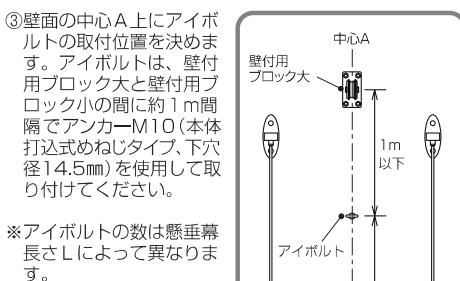


2 ワイヤー昇降セットの取付

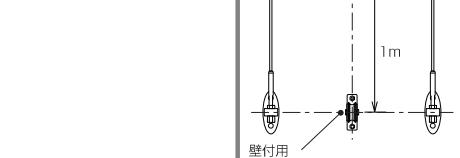
①壁面上部に壁付用ブロック大の取付位置を決めます。
上部スペースの中心A上に取り付けます。(下図参照)
※アンカーM10(芯棒打込式ねじタイプ、下穴径10.5mm)を4個使用します。



②壁面下部に壁付用ブロック小の取付位置を決めます。
下部のサイドワイヤーベースと同じ高さで中心A上に取り付けます。
※アンカーM10(芯棒打込式ねじタイプ、下穴径10.5mm)を2個使用します。

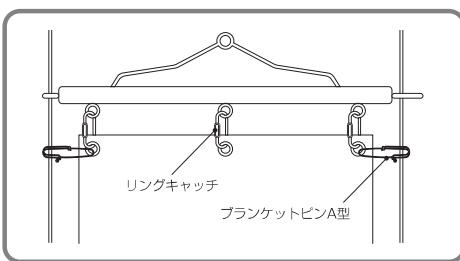


③壁面の中心A上にアイボルトの取付位置を決めます。アイボルトは、壁付用ブロック大と壁付用ブロック小の間に約1m間隔でアンカーM10(本体打込式ねじタイプ、下穴径14.5mm)を使用して取り付けてください。



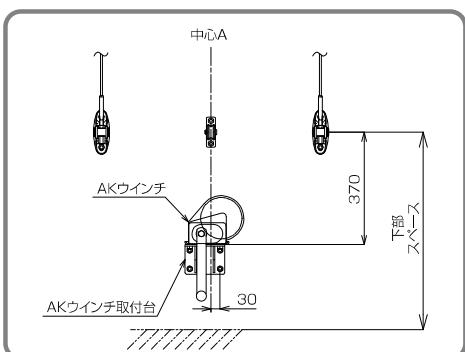
3 懸垂幕の取付

①リングキャッチで懸垂バーと懸垂幕を連結します。
②プランケットピンA型でサイドワイヤーと懸垂幕を連結します。
③同様に懸垂バー下と懸垂幕を連結します。



4 AKウインチの取付

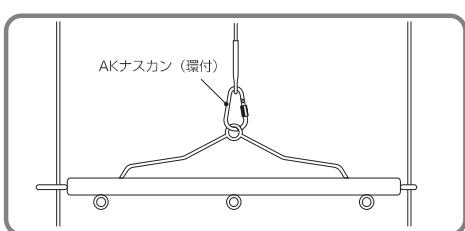
①下部スペースにAKウインチの取付位置を決めます。
(下図参照)



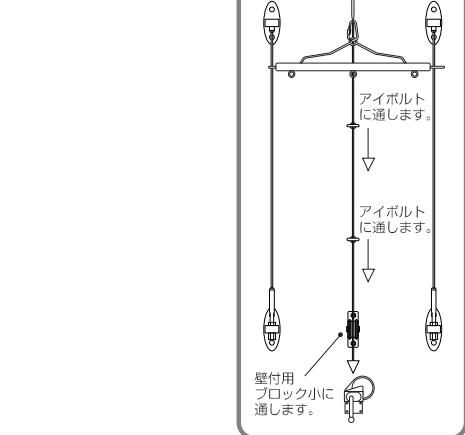
②AKウインチ取付台をボルトアンカー(下穴径10.5mm)4個を使用して壁面に取り付けます。
③AKウインチとAKウインチ取付台をボルトナット(3個)を使用して組み付けます。(AKウインチ取付台は、4つ穴が開いている面が壁面になります。)
※AKウインチの取扱方法はAKウインチの取扱説明書を参照してください。

5 吊ワイヤーユニットの取付

①吊ワイヤーユニットのAKナスカン(環付)を懸垂バーのリングに連結します。



②ワイヤーの端部を壁付用ブロック大に手前側から壁面に向かって通り、アイボルト、壁付用ブロック小へ通り、AKウインチに取り付けます。



6 懸垂幕昇降の確認

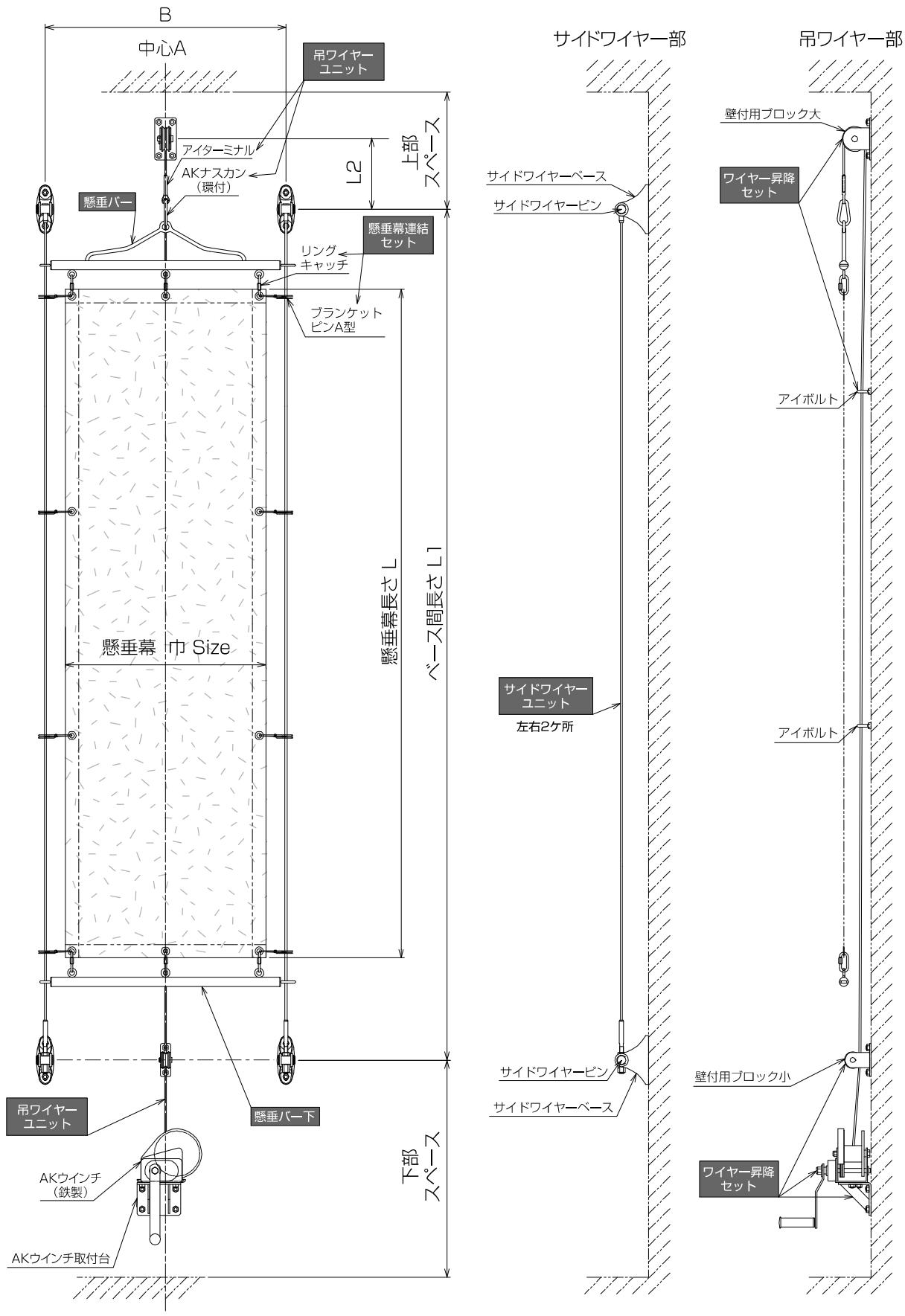
①AKウインチのハンドルを回して、懸垂幕を上昇させてください。

②懸垂幕の昇降を一通り確認したら、設置は完了です。

注1 サイズ表

No	懸垂幕巾 Size	B	ワイヤーSize		L2	上部 スペース
			サイドワイヤー	吊ワイヤー		
AK48011	600	720	$\phi 6$ (1×19)	$\phi 5$ (7×19)	210	350以上
AK48012	900	1020				
AK48013	1200	1320	または $\phi 8$ (1×19)	$\phi 8$ (7×19)	400	580以上
AK48014	1500	1620				
AK48015	1800	1920				

*懸垂幕長さが5Mを超える場合、サイドワイヤーは $\phi 8$ (1×19)を使用します。



ご使用されるお客様へ

1. 取扱い方法

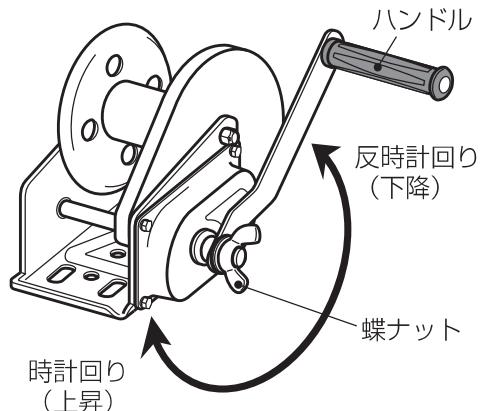
①懸垂幕の昇降

①AKワインチのハンドルは時計回りで懸垂幕は上昇し、反時計回りで下降します。

※AKワインチの取扱いに関しては、AKワインチ取扱説明書をお読みください。

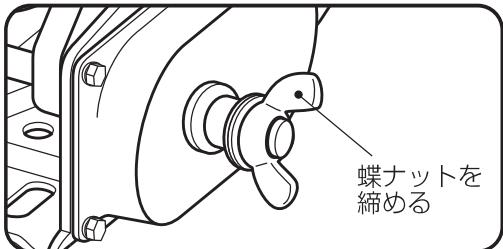
！注意

- 懸垂幕が上がりきった時点でハンドルの回転をやめてください。
- 懸垂幕が下がりきった時点でもハンドルの回転をやめてください。ワイヤーがAKワインチのドラム内で空回りしてしまいます。



②懸垂幕の昇降をしない時は、蝶ナットを外してハンドルを取り外してください。

外した蝶ナットは再度締めて、ハンドルは使う人がわかる所に保管してください。



②懸垂幕の取替え方法

①懸垂幕を下端まで下降させます。

②懸垂幕と懸垂バー、サイドワイヤーのそれぞれ連結しているリングキャッチ、プランケットピンA型を外せば懸垂幕を取り外せます。

③新しい懸垂幕を取り付けます。

懸垂幕は同じ大きさで、ハトメ位置も同じにしてください。

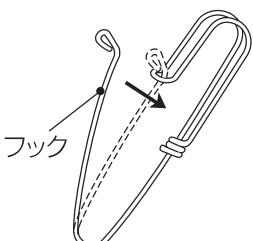
！注意

- リングキャッチの固定は、スパナ等の工具を使って本締めをしてください。

●リングキャッチ
ナットを回して外す



●プランケットピンA型
フックを押して外す



※ナットが固い場合は
スパナ等で回して外
してください。

2. 点検・メンテナンス

①点検

- ワイヤーロープに異常がないか。
(摩耗、断線、キング、つぶれ、ほつれ、腐食など)
- AKワインチに異常はないか。
(AKワインチ取扱説明書参照)
- 各部品や連結金具に異常がないか。
(外れ、ねじの緩み、欠損、摩耗による削れなど)

②メンテナンス

- サイドワイヤーが緩んでいた場合（右図参照）
○六角ナットを緩め、高ナットを増締めしてください。増締めが終了したら六角ナットを締めてください。
- 吊ワイヤーエンジニアやサイドワイヤーが摩耗によって削られていた場合は、使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 万一、本取扱説明書を紛失した場合は、販売店へご請求ください。

